



月刊 千葉労働

国鉄千葉動力車労働組合

〒280 千葉市要町2番8号(動力車会館)

電話 (鉄電) 千葉 2935・2936 番
(公) 千葉 (22) 7207 番

90.7.12 No. 3251

青年部定期委員会がなる

労働千葉破壊の先頭へ



七月八、九日、外房の「一宮荘」において青年部第一三定期委員会が開催された。参加した役員一名、委員二二名、傍聴者一四名、計四七名の集中によって、労働千葉の運動について全面的な討議を深めた有意義な委員会であった。

●解雇撤回・清算事業団闘争の永続化を！

七月八日、一三時すぎ、鈴木常任(木更津)の司会で委員会が始まった。

議長に、田中浩克君(千葉転)を選出し議事が進められた。

青年部を代表して、杉本青年部長は「この一年間、清算事業団闘争を労働千葉の力でつくりだした。だから今、処分や支部破壊が強まっている。青年部が先頭にたつて団結を固め、勝利に向かって進撃していこう！」とあいさつ。

続いて本部を代表して田中書記長が約四〇分にわたって、①国労中央の清算事業団終結方針を許さず、今秋闘争に決起しよう！②労働千葉ねだやし攻撃を見据え、腹をすえて闘おう！③今のJRはかつての東欧みたいなもの、追いつめられているのはJRとJR総連革マルである。④政治反動―天皇制攻撃を許すな！⑤処分紛争の先頭にたつ青年部が、自ら闘いを指導していく経験を積み重ね、又、闘う理論を身につけてほしい、と全面的に提起した。

三里塚反対同盟青年行動隊からのメッセージを紹介したのち、議案に入った。

●強権支配の対決を！

天皇制攻撃と

常任委員会から一二、五ストを突破口とする闘いの総括が展開され、各委員(支部)より、自分の支部の総括と現状が報告された。皆、分割・民営化三年にして、運転ストの復活を自分たちがやりぬいた自信に満ちた発言が続いた。会計報告が承認され、さら

7月8日9日一宮荘での定期委員会は熱い議論と夜の交流会を通しなツナリと団結を固めた。陣いの先頭へ！組織の中軸へ！



に争議団として被解雇者の先頭で闘っている川崎冒浩君の報告をはじめ、討論を深め、初日の議事を終了した。

夕食の前に、物販担当の岩井昇一君より物販の売り上げが例年より大きく伸びているとの、勝利の報告を受けた。

二日目、激動する世界・日本・国鉄労働運動の情勢と闘う方針について論議した。

とりわけ、今日の「憲法も民主主義もない」JRの強権支配のやり方こそ、天皇制攻撃の決意である！

●新役員体制 確立！九〇年代の労働千葉をつくらう！

最後に役員選出にあたって、新しい体制が確立された。青年部は、今委員会で選出された新役員体制と闘う方針のもと、九〇年と九〇年代を闘う決意である！

新青年部役員体制

青年部長	佐藤 正和	新小岩
副青年部長	服部 和夫	新小岩
書記長	関 道利	総 武
常任委員	永井 一代	銚 子
田中 浩克	千葉転	
宇佐美悦男	館 山	
吉野 道夫	京 葉	
杉本 則夫	総 武	